

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年4月17日 (2014.4.17)

【公表番号】特表2011-515430(P2011-515430A)

【公表日】平成23年5月19日 (2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2011-501141(P2011-501141)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/96 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

C 0 7 D 403/04 (2006.01)

C 0 7 D 409/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/403 (2006.01)

A 6 1 K 31/454 (2006.01)

A 6 1 K 31/438 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 17/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/14 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/10 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

C 0 7 D 471/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 209/96 C S P

C 0 7 D 409/12

C 0 7 D 403/04

C 0 7 D 409/04

A 6 1 K 31/403

A 6 1 K 31/454

A 6 1 K 31/438

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 25/08
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/32
 A 6 1 P 25/36
 A 6 1 P 15/10
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 9/02
 A 6 1 P 9/12
 A 6 1 P 27/16
 A 6 1 P 17/04
 A 6 1 P 25/06
 A 6 1 P 1/00
 A 6 1 P 1/14
 A 6 1 P 3/04
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 1/10
 A 6 1 P 7/00
 A 6 1 P 13/10
 C 0 7 D 471/10 1 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 2 3】

本発明の他の主題は、不安状態、ストレス及びストレスと関連する症候群、鬱病、てんかん、アルツハイマー病、老人性痴呆、一般的な認識機能障害、学習及び記憶障害（向知性薬として）、禁断症状、アルコール乱用及び／又はドラッグ乱用及び／又は薬物乱用、アルコール依存症及び／又はドラッグ依存症及び／又は薬物依存症、性的機能障害、心臓血管疾患、低血圧症、高血圧症、耳鳴り、掻痒、偏頭痛、難聴、腸の運動性の不足、摂食障害、拒食症、過食症、運動器官障害、下痢、悪液質、尿失禁の治療のため、筋弛緩剤、鎮痙剤又は麻酔剤として、又はオピオイド系鎮痛剤又は麻酔剤を用いた治療の際の同時投与のため、利尿又は抗ナトリウム利尿、抗不安のため、運動活力の調節のため、神経伝達物質放出の調節のため及びそれに関連する神経変性疾患の治療のため、禁断症状の治療のため及び／又はオピオイド依存症の可能性の低下のための医薬の製造のための、本発明による化合物の使用に関する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 9】

不安状態、ストレス及びストレスと関連する症候群、鬱病、てんかん、アルツハイマー病、老人性痴呆、一般的な認識機能障害、学習及び記憶障害（向知性薬として）、禁断症状、アルコール乱用及び／又はドラッグ乱用及び／又は薬物乱用、アルコール依存症及び／又はドラッグ依存症及び／又は薬物依存症、性的機能障害、心臓血管疾患、低血圧症、高血

圧症、耳鳴り、掻痒、偏頭痛、難聴、腸の運動性の不足、摂食障害、拒食症、過食症、運動器官障害、下痢、悪液質、尿失禁の治療のため、筋弛緩剤、鎮痙剤又は麻酔剤として、又はオピオイド系鎮痛剤又は麻酔剤を用いた治療の際の同時投与のため、利尿又は抗ナトリウム利尿、抗不安のため、運動活力の調節のため、神経伝達物質放出の調節のため及びそれに関連する神経変性疾患の治療のため、禁断症状の治療のため及び／又はオピオイド依存症の可能性の低下のための医薬を製造するための、個々の立体異性体又はその混合物、遊離化合物及び／又はその生理学的に許容し得る塩の形態での請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の化合物の使用。